

町政が当面する諸問題を報告

6月定例町議会【町長事務報告】

6月3日から13日まで6月定例町議会が開催されました。開会日には、町長から事務報告が述べられました。

概要掲載

医療

新たな医療センター構想

(仮称)九十九里地域医療

センターは断念せざるを得なくなりましたが、救急や小児医療など不足している医療水準を引き上げ、医療過疎の解消を図ることによって、安心できる住環境を確保することが行政の責任と考え、東金市、大網白里町、九十九里町の3市町で新たな医療センターの実現を目指したいと考えております。

5月26日には、堂本知事、3市町長、各議会の正副議長との初の準備会合が開催され、県からセンター長候補者として千葉大名誉教授の紹介を受けました。全国の学会長も務められた救急医療の専門家、大変心強く感じております。

今後は、議会も含めて十分な議論のもと、医療センターの具体的な計画作りに着手したいと考えております。

総務

下水道維持管理業務に関する返還訴訟

平成18年度に締結した汚水処理施設等維持管理業務委託契約は違法・不当として、4月22日に約4,661万円の返還を求める訴えが、千葉地方裁判所にあり、裁判所から5月23日付けで訴状が送達さ

財政

平成19年度決算規模は約123億円の見込み

平成19年度の町の財政状況については、交付税や交付金等の収入見込みが前年度を下回るなど、一般財源の確保が厳しい状況であります。歳出面では、扶助費、公債費など義務的経費が増加しており、依然として厳しいものとなっております。

画策

町地域公共交通会議を開催

地域の実情に合った輸送サービスの実現に向けて協議するため、学識経験者、運送事業者、行政機関、一般公募の

住民で組織した、大網白里町地域公共交通会議を6月6日に開催いたします。

この会議を法定協議会へと移行させ、具体的な調査・検討を行ってまいります。

住民参加推進事業として、今年3月16日に、住民と行政の協働によるまちづくり推進懇談会が2カ年にわたる検討結果を提言書として町へ提出しました。

町としては、この貴重な提言を基に、「住民参加・協働のまちづくり委員会」を立ち上げるため準備を進めております。

消防

女性消防団員が消防団員減少の歯止めに一役

全国的に消防団員数の減少や高齢化などの課題に直面しているところですが、町では昨年度、女性消防団員の入団が実現しました。

現在6名が広報・啓発などの活動をしています。

防災

防災資機材整備補助金交付要綱を制定

町の地域防災計画は、県の地域防災計画と整合を図るため、昨年度に修正作業を進め、完了しました。

自主防災組織の結成促進は、4組織が結成され、その他の区・自治会でも設立に向けて協議が行われているようであり、町は、自主防災組織に対し、防災資機材の整備に要する経費の一部を補助

医療

後期高齢者医療制度の保険料の誤徴収

後期高齢者医療制度は、今年4月にスタートしましたが、3月までサラリーマンなどの被用者保険の被扶養者であった方について、徴収すべきではない456名の方の保険料が4月の支給年金から誤って、天引きされてしまいました。5月28日までに、435名の方に還付を行いました。残る21名の方も、早急に手続きをとってまいります。

なお、今回、対象となった方々には、ご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

福祉

子育てサポートブックの配布

保健・福祉等に関するサービスの概要を紹介した「子育てサポートブック」を作成しました。今後は、子育て中の皆さまに配布し、子育て支援策の周知に努めるとともに、少子化対策、子育て支援対策の充実に努めてまいります。

社会

地域福祉計画の充実に向け組織づくり

今年4月に地域福祉計画と概要版を配布しました。平成20年度からは、地域福祉計画推進委員会並びに地域福祉計画推進庁内会議を設置し、協議・検討を行い地域福祉の充実に努めてまいります。

生活

ゴミゼロ運動の実施

ゴミゼロ運動が、5月25日に東甲信越静の1都10県を中心に実施されました。本町でも、町内全域の区・自治会等、99団体、約1万人の参加を得て、約8・4トンの空き缶などを回収することができました。

今後も住民、事業者、行政が一体となり、環境美化運動の推進を図りたいと考えております。

児童

子育てサポートブックの配布

保健・福祉等に関するサービスの概要を紹介した「子育てサポートブック」を作成しました。今後は、子育て中の皆さまに配布し、子育て支援策の周知に努めるとともに、少子化対策、子育て支援対策の充実に努めてまいります。

産業

海岸を舞台とした夏季観光対策

白里海岸の振興策としては、昨年度に海岸のトイレの改築および駐車場の整備を行いました。本年度は老朽化した海岸のトイレを改築し、観光地にふさわしくなるような環境整備を進めています。これまで以上の利便性の向上と、

7議案を審議

可決議案

- 第1号 専決処分の承認を求めることについて(大網白里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)
- 第2号 専決処分の承認を求めることについて(大網白里町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について)
- 第3号 専決処分の承認を求めることについて(大網白里町町税条例の一部を改正する条例の制定について)
- 第4号 大網白里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 第5号 大網白里町任期付職員の採用等に関する条例の制定について
- 第6号 財産の取得について

否決議案

- 第7号 平成20年度大網白里町一般会計補正予算

報告

- 第1号 専決処分の報告について
- 第2号 平成19年度大網白里町一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 第3号 平成19年度大網白里町一般会計事故繰越し繰越計算書について

観光地としてのイメージアップに取り組んでまいります。海水浴場の安全を祈願する海開き式が7月11日に開催される運びとなり、8月24日まで海水浴場を開設してまいります。

期間中には、夏期観光安全対策本部を設置し、無謀遊泳等の対策として専門業者に委託するとともに、警察署や交通安全協会等と密接な連携を

学校教育

ICT環境の整備

現在のICT環境は進展が目覚ましく、小・中学校でも、これらに即した教育環境の整備が求められております。このため、小・中学校10校のうち、半数である5校の環境整備を平成19年度に実施し、今年度は、残り5校の環境整備を夏季休業期間中に実施すべく準備を進めております。

学校施設

小・中学校の耐震化対策の推進

平成20年度の重点事業である小・中学校の耐震化対策事業としては、大網中学校教室棟耐震構造改修工事、瑞穂小学校・増穂小学校の教室棟耐震構造改修設計業務を実施しております。



海の安全を守るライフセーバー